

2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

証券コード 7715

2026年2月10日



2026年3月期 第3四半期 累計連結業績概要
2026年3月期 業績予想(変更なし)
株主還元

2026年3月期 第3四半期 累計連結業績概要

(単位：百万円)

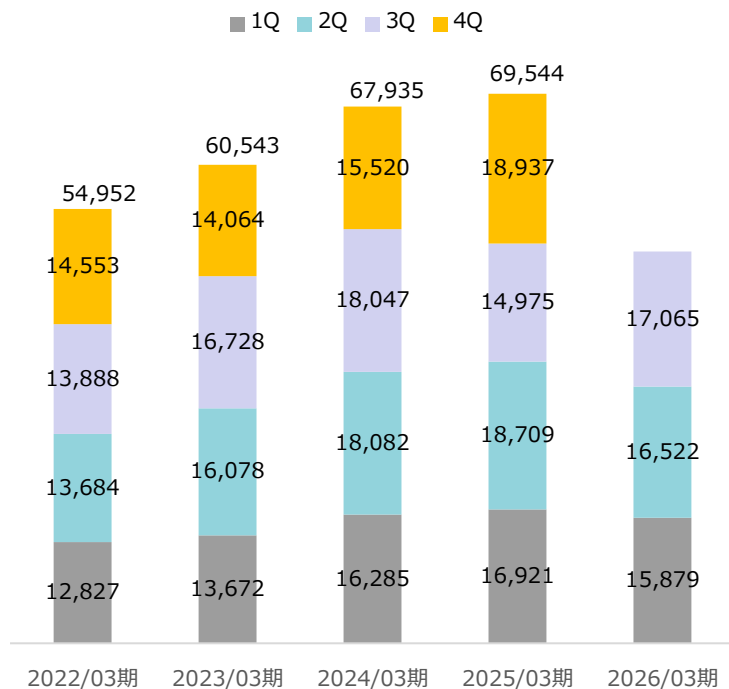
		2025年3月期 1-3Q (2024.4.1～2024.12.31)	2026年3月期 1-3Q (2025.4.1～2025.12.31)	前年同期比	
				増 減	増減率
売 上 高		50,606	49,467	△ 1,139	△ 2.3%
営 業 利 益		5,567	4,971	△ 595	△ 10.7%
営 業 利 益 率		11.0%	10.1%	△ 0.9%	—
経 常 利 益		5,529	4,921	△ 607	△ 11.0%
経 常 利 益 率		10.9%	9.9%	△ 1.0%	—
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益		4,354	3,379	△ 974	△ 22.4%
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益 率		8.6%	6.8%	△ 1.8%	—
為 替	ド ル （ 期 末 ） ※	142円71銭	148円86銭	4.3% の円安	
	ユ ー ロ （ 期 末 ） ※	159円37銭	174円42銭	9.4% の円安	

※在外子会社の円換算に使用している9月末レートを表記

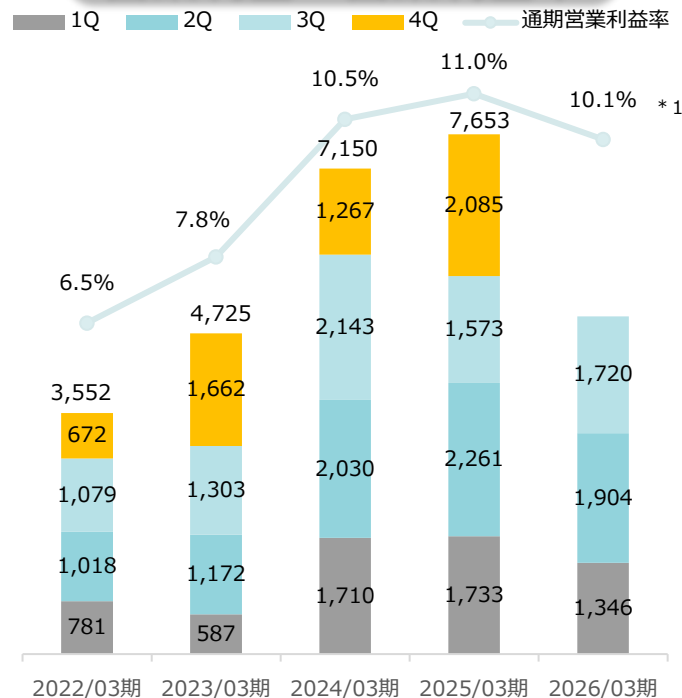
四半期業績推移 (2022.1Q~2026.3Q)

(単位: 百万円)

売上高



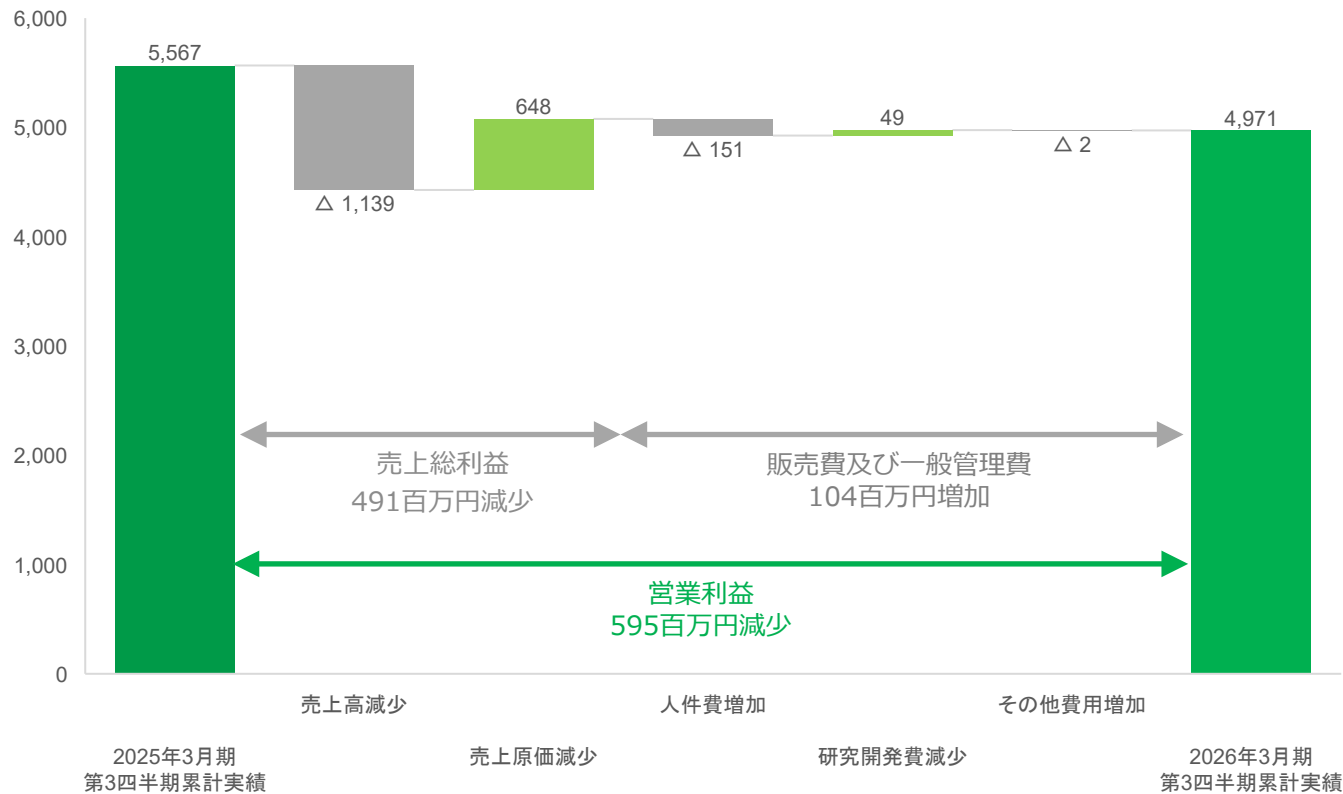
営業利益・営業利益率



* 1 2026/03期 営業利益率は1-3Q実績

営業利益増減分析（前年同期比）

（単位：百万円）



[営業利益は減少]

売上高の減少に連動して売上原価が減少いたしました。

また、素材・原材料価格の上昇が影響した結果、売上総利益は491百万円減少いたしました。

グループ全体として、人件費は増加しております。研究開発費は微減となりましたが、最終的に販売費及び一般管理費は104百万円増加しました。

最終的に、営業利益は595百万円減少しております。

第3四半期累計 セグメント別業績

(単位：百万円)

[売上高]

	2025年3月期 1-3Q		2026年3月期 1-3Q		前年同期比	
	金 額	売上構成比	金 額	売上構成比	増 減	増減率
圧 力 計	26,484	52.3%	26,479	53.5%	△ 4	△ 0.0%
圧力センサ	15,999	31.6%	14,461	29.2%	△ 1,537	△ 9.6%
計測制御機器	2,788	5.5%	3,048	6.2%	259	9.3%
ダイカスト	3,873	7.7%	4,089	8.3%	216	5.6%
そ の 他	1,461	2.9%	1,387	2.8%	△ 74	△ 5.1%
合 計	50,606	100.0%	49,467	100.0%	△ 1,139	△ 2.3%

[営業利益]

	2025年3月期 1-3Q		2026年3月期 1-3Q		前年同期比	
	金 額	営業利益率	金 額	営業利益率	増 減	増減率
圧 力 計	2,218	8.4%	2,260	8.5%	41	1.9%
圧力センサ	3,333	20.8%	2,142	14.8%	△ 1,191	△ 35.7%
計測制御機器	24	0.9%	282	9.3%	257	1059.5%
ダイカスト	△ 116	△ 3.0%	173	4.2%	289	—
そ の 他	103	7.0%	110	7.9%	7	6.8%
調 整 額	3	—	3	—	0	—
合 計	5,567	11.0%	4,971	10.1%	△ 595	△ 10.7%

第3四半期累計 業種別売上高

(単位：百万円)

	2025年3月期 1-3Q		2026年3月期 1-3Q		前年同期比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減	増減率(%)
圧力計						
産業機械・プロセス	14,004	52.9%	15,046	56.8%	1,041	7.4%
FA空圧	6,408	24.2%	5,982	22.6%	△ 425	△6.6%
空調管材	1,526	5.8%	1,622	6.1%	96	6.4%
半導体	3,064	11.6%	2,567	9.7%	△ 497	△16.2%
電子製品	1,480	5.6%	1,260	4.8%	△ 219	△14.8%
計	26,484	100.0%	26,479	100.0%	△ 4	△0.0%
圧力センサ						
プロセス・新エネルギー	1,585	9.9%	1,875	13.0%	289	18.3%
産業機械・設備	4,393	27.5%	4,244	29.3%	△ 148	△3.4%
空調	367	2.3%	418	2.9%	50	13.9%
半導体	5,844	36.5%	3,289	22.8%	△ 2,554	△43.7%
量産・車	1,045	6.5%	1,165	8.1%	120	11.5%
量産・建設機械	2,762	17.3%	3,467	24.0%	705	25.5%
計	15,999	100.0%	14,461	100.0%	△ 1,537	△9.6%
計測制御機器	2,788	—	3,048	—	259	9.3%
ダイカスト	3,873	—	4,089	—	216	5.6%
その他	1,461	—	1,387	—	△ 74	△5.1%
合 計	50,606	—	49,467	—	△ 1,139	△2.3%

第3四半期累計 セグメント別業績 圧力計

圧力計

圧力センサ

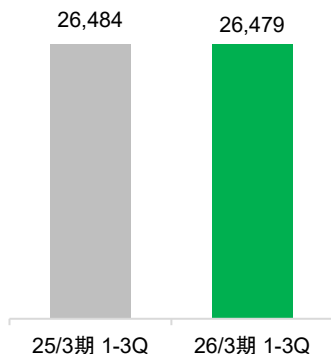
計測制御機器

ダイカスト

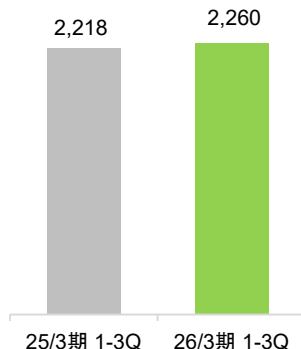
(単位：百万円)

	2025年3月期 1-3Q (2024.4.1～2024.12.31)	2026年3月期 1-3Q (2025.4.1～2025.12.31)	前年同期比	
			増 減	増減率
売上高	26,484	26,479	△ 4	△ 0.0%
営業利益	2,218	2,260	41	1.8%

売上高



営業利益



[圧力計事業は前年同期比で減収・増益]

国内

- プロセス業界において保守・メンテナンス需要が増加。
- FA空圧機器業界向け及び、半導体業界向けの売上が減少。

海外

- 米国子会社では、産業機械業界向けの売が増加。



第3四半期累計 セグメント別業績 圧力計

圧力計

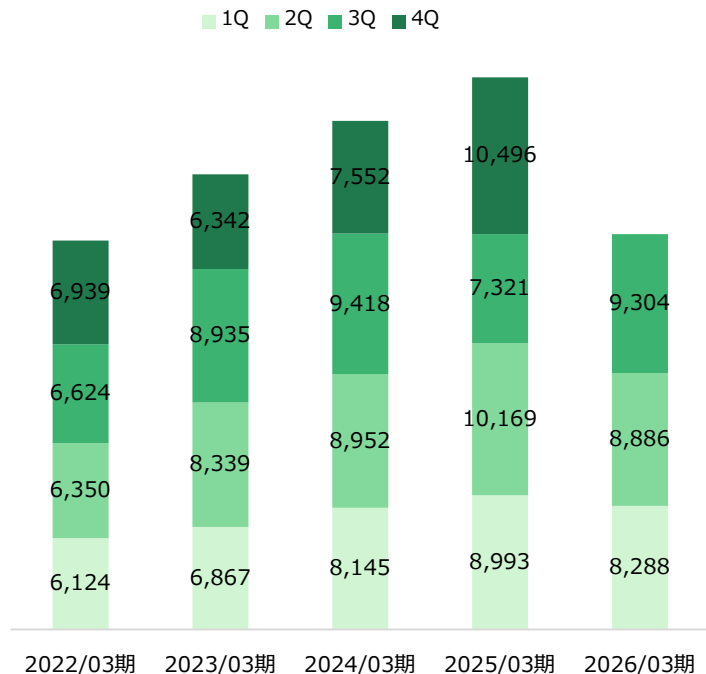
圧カセンサ

計測制御機器

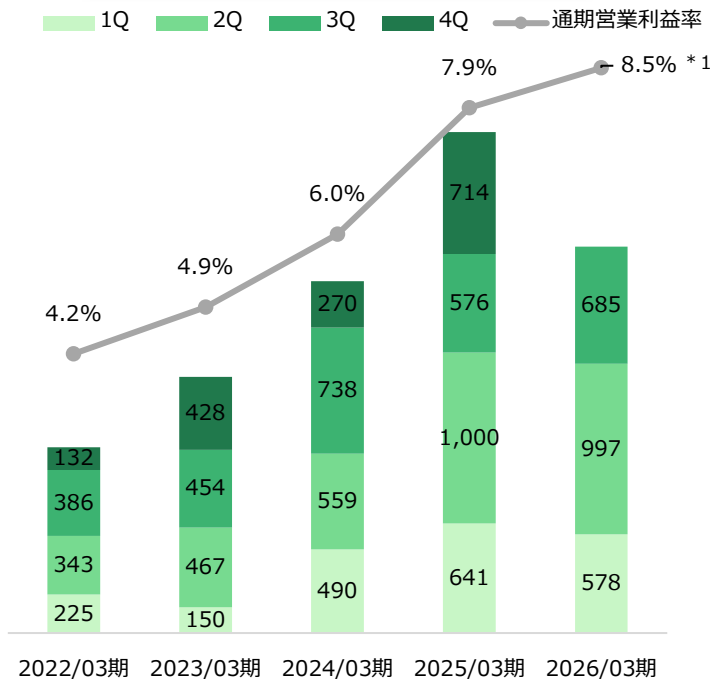
ダイカスト

(単位：百万円)

売上高



営業利益・営業利益率



* 1 2026/03期 営業利益率は1-3Q実績

第3四半期累計 セグメント別業績 圧力センサ

圧力計

圧力センサ

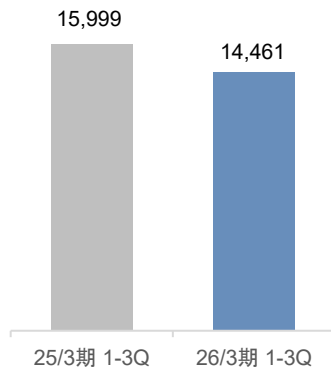
計測制御機器

ダイカスト

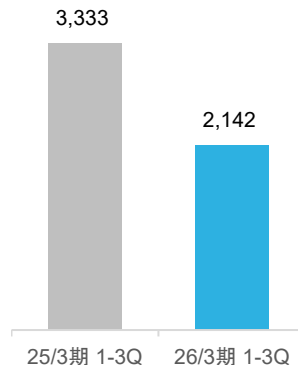
(単位：百万円)

	2025年3月期 1-3Q (2024.4.1～2024.12.31)	2026年3月期 1-3Q (2025.4.1～2025.12.31)	前年同期比	
			増 減	増減率
売上高	15,999	14,461	△ 1,537	△ 9.6%
営業利益	3,333	2,142	△ 1,191	△ 35.7%

売上高



営業利益



[圧力センサ事業は前年同期比で減収・減益]

国内

- プロセス・新エネルギー向け、空調管材向け、自動車搭載用及び建設機械搭載用の売上が増加。
- 産業機械業界向け、半導体向けの売上が減少。
- 前年同期に好調であった半導体業界向けの売上が減少。

海外

- 米国子会社においては、産業機械業界向けが好調であったことから売上が増加。



第3四半期累計 セグメント別業績 圧力センサ

圧力計

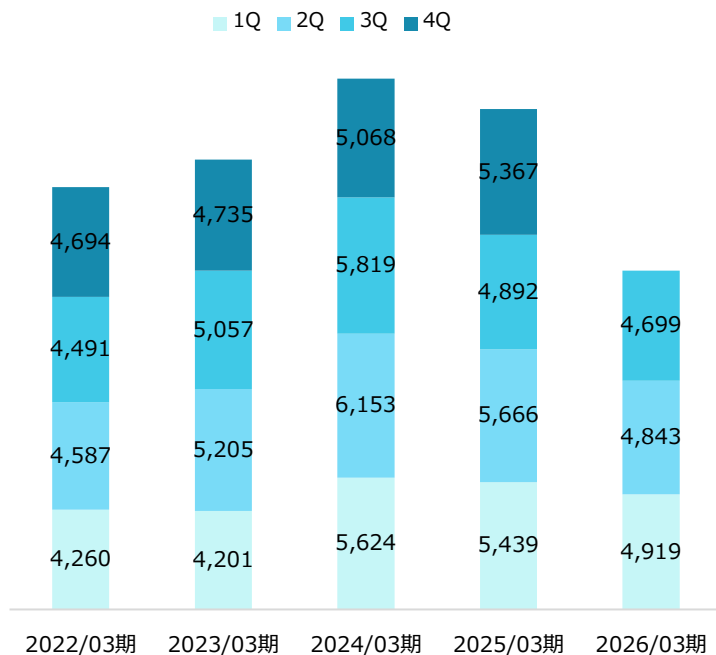
圧力センサ

計測制御機器

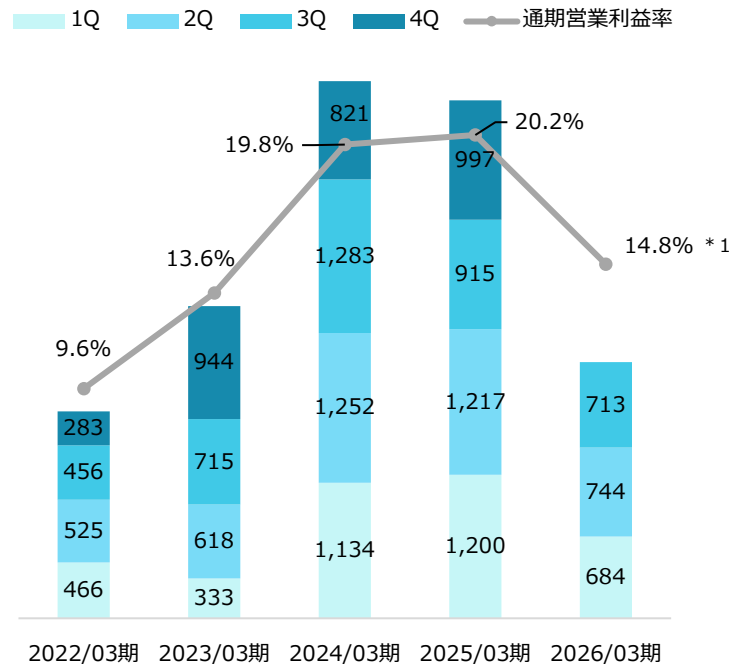
ダイカスト

(単位：百万円)

売上高



営業利益・営業利益率



* 1 2026/03期 営業利益率は1-3Q実績

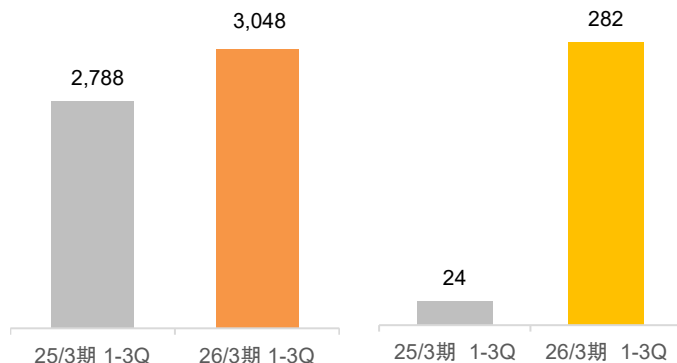
第3四半期累計 セグメント別業績 計測制御機器

(単位：百万円)

		2025年3月期 1-3Q (2024.4.1～2024.12.31)	2026年3月期 1-3Q (2025.4.1～2025.12.31)	前年同期比	
				増 減	増減率
売	上	高	2,788	3,048	259 9.3%
営	業	利 益	24	282	257 1059.5%

売上高

営業利益



[計測制御機器事業は前年同期比で増収・増益]

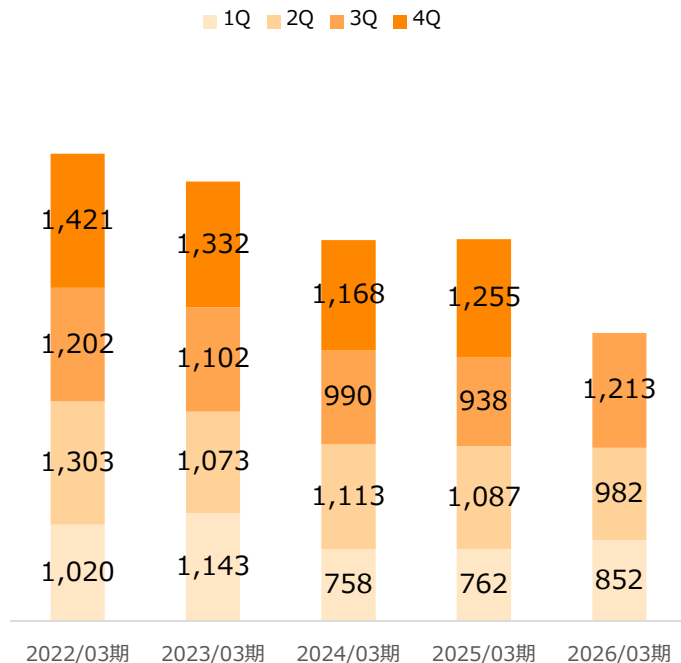
- 自動車・電子部品関連業界向けのエアリークテストは、足元の設備投資が鈍い状況を受けて売上が減少。
- 一般産業の設備投資に関わる生産設備向けとして、空気圧機器、医療機器の売上が増加。
- 営業利益は空気圧機器の需要が寄与し、増加。



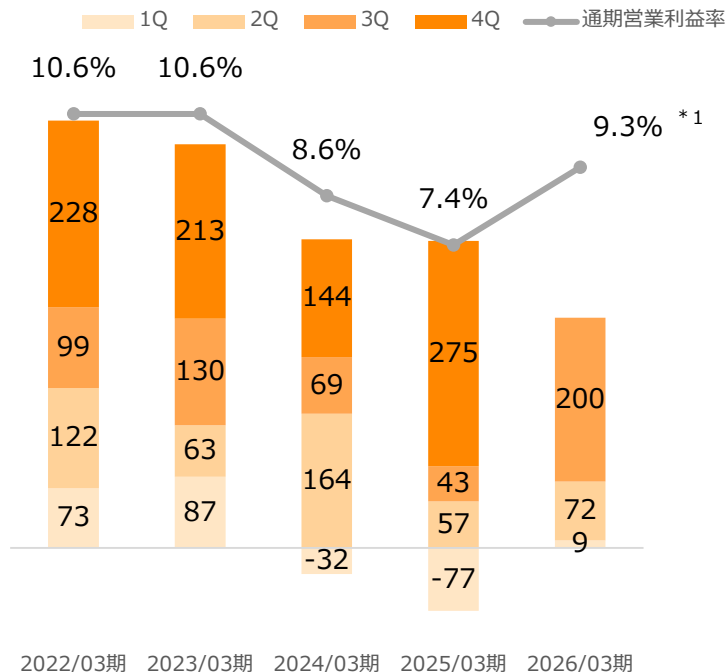
第3四半期累計 セグメント別業績 計測制御機器

(単位：百万円)

売上高



営業利益・営業利益率



*1 2026/03期 営業利益率は1-3Q実績

第3四半期累計 セグメント別業績 ダイカスト

圧力計

圧力センサ

計測制御機器

ダイカスト

(単位：百万円)

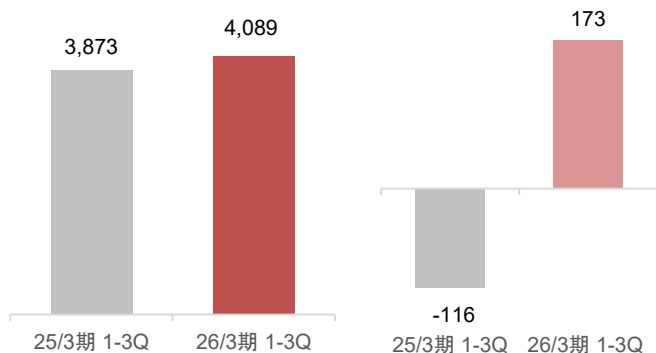
	2025年3月期 1-3Q (2024.4.1～2024.12.31)	2026年3月期 1-3Q (2025.4.1～2025.12.31)	前年同期比	
			増 減	増減率
売上高	3,873	4,089	216	5.6%
営業利益	△ 116	173	289	—

売上高

営業利益

[ダイカスト事業は前年同期比で増収・増益]

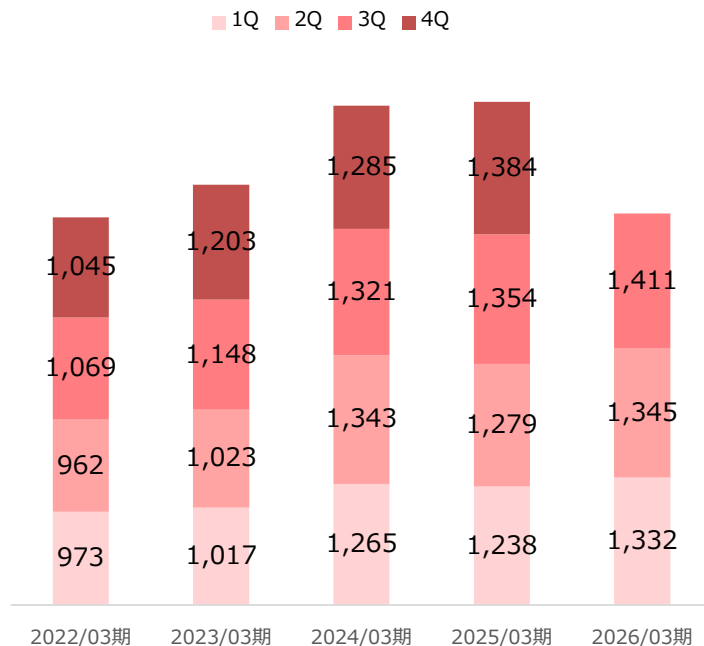
- 自動車業界を主要取引先とするダイカスト事業は
自動車生産台数の回復を背景に売上高、営業利益ともに増加。



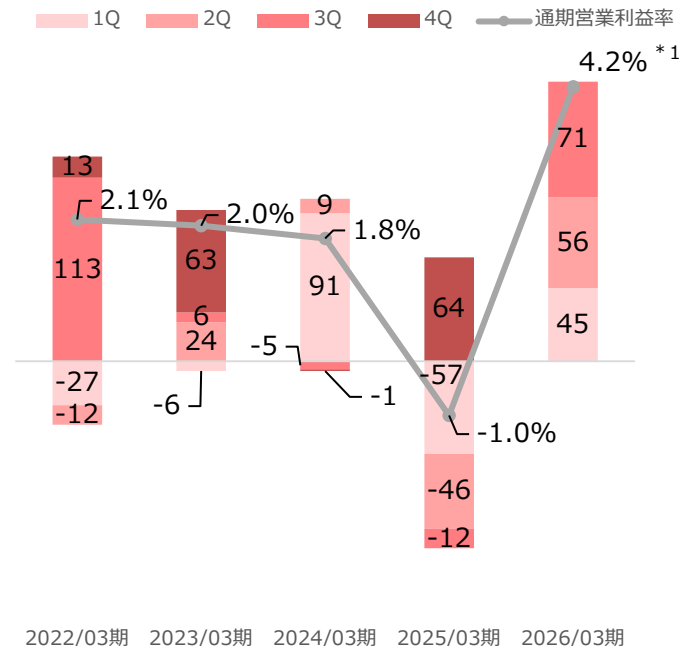
第3四半期累計 セグメント別業績 ダイカスト

(単位：百万円)

売上高



営業利益・営業利益率

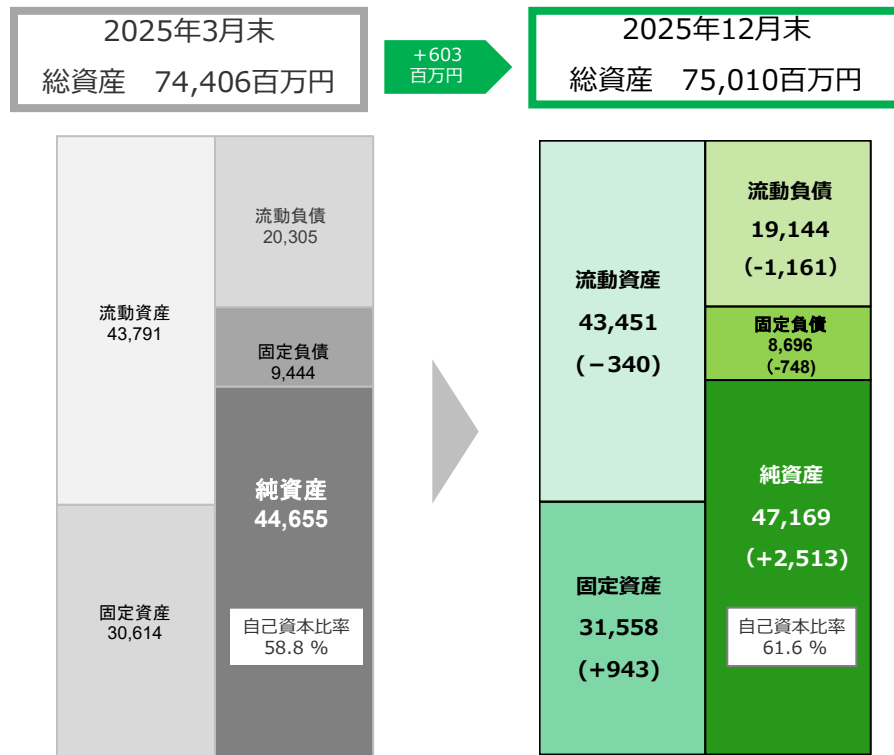


*1 2026/03期 営業利益率は1-3Q実績

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績		2026年3月期 1-3Q実績		前期末比 増 減
	金 額	割合	金 額	割合	
流 動 資 産	43,791	58.9%	43,451	57.9%	△ 340
固 定 資 産	30,614	41.1%	31,558	42.1%	943
資 産 合 計	74,406	100.0%	75,010	100.0%	603
流 動 負 債	20,305	27.3%	19,144	25.5%	△ 1,161
固 定 負 債	9,444	12.7%	8,696	11.6%	△ 748
負 債 合 計	29,750	40.0%	27,840	37.1%	△ 1,910
株 主 資 本	38,105	51.2%	39,349	52.5%	1,244
その他の包括利益累計額	5,677	7.6%	6,845	9.1%	1,168
非 支 配 株 主 持 分	873	1.2%	975	1.3%	101
純 資 産 合 計	44,655	60.0%	47,169	62.9%	2,513
負 債 ・ 純 資 産 合 計	74,406	100.0%	75,010	100.0%	603



純資産は、2,513百万円増加、自己資本比率は2.8pt 増加しております。

2026年3月期 第3四半期 累計連結業績概要
2026年3月期 業績予想(変更なし)
株主還元

連結業績予想（変更無し）

（単位：百万円）

	2025年3月期 実績 (2024.4.1～2025.3.31)	2026年3月期 予想 (2025.4.1～2026.3.31)	前期比	
			増 減	増減率
売 上 高	69,544	67,100	△ 2,444	△ 3.5%
営 業 利 益	7,653	6,800	△ 853	△ 11.1%
営 業 利 益 率	11.0%	10.1%	△ 0.9%	—
経 常 利 益	7,575	6,900	△ 675	△ 8.9%
経 常 利 益 率	10.9%	10.3%	△ 0.6%	—
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	6,054	5,100	△ 954	△ 15.8%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 率	8.7%	7.6%	△ 1.1%	—
為 替				
ドル（期末）※	158円18銭	145円00銭	—	
ユーロ（期末）※	164円94銭	155円00銭	—	

※ 2025年3月期通期実績の為替レートは在外子会社の円換算に使用している12月末為替レートを表記

セグメント別業績予想（2Q修正より変更なし）

（単位：百万円）

【売上高】

	2025年3月期実績		2026年3月期 期初予想		2026年3月期 2Q修正予想		前期比	
	金 額	※	金 額	※	金 額	※	増 減	増減率
圧 力 計	36,980	53.2%	34,400	51.3%	35,000	52.2%	△ 1,980	△5.4%
圧力センサ	21,366	30.7%	20,560	30.6%	20,500	30.6%	△ 866	△4.1%
計測制御機器	4,043	5.8%	4,760	7.1%	4,200	6.3%	157	3.9%
ダイカスト	5,257	7.6%	5,500	8.2%	5,500	8.2%	243	4.6%
そ の 他	1,896	2.7%	1,880	2.8%	1,900	2.8%	4	0.2%
合 計	69,544	100.0%	67,100	100.0%	67,100	100.0%	△ 2,444	△3.5%

【営業利益】

	2025年3月期実績		2026年3月期 期初予想		2026年3月2Q修正予想		前期比	
	金 額	※	金 額	※	金 額	※	増 減	増減率
圧 力 計	2,933	7.9%	2,350	6.8%	3,100	8.9%	167	5.7%
圧力センサ	4,330	20.2%	3,880	18.9%	3,000	14.6%	△ 1,330	△30.7%
計測制御機器	299	7.4%	391	8.2%	375	8.9%	76	25.4%
ダイカスト	△ 52	△1.0%	56	1.0%	204	3.7%	256	—
そ の 他	136	7.2%	123	6.5%	121	6.4%	△ 15	△11.0%
調 整 額	4	—	—	—	—	—	—	—
合 計	7,653	11.0%	6,800	10.1%	6,800	10.1%	△ 853	△11.1%

※ 売上高は売上構成比、営業利益はセグメントごとの営業利益率となっております。

業種別 売上高予想

(単位：百万円)

	2025年3月期 通期実績		2026年3月期 通期予想		前期比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減	増減率
圧力計						
産業機械・プロセス	19,821	53.6%	19,478	55.7%	△ 343	△ 1.7%
FA空圧	8,656	23.4%	7,933	22.7%	△ 723	△ 8.4%
空調管材	2,184	5.9%	2,101	6.0%	△ 83	△ 3.8%
半導体	4,261	11.5%	3,561	10.2%	△ 700	△ 16.4%
電子製品	2,057	5.6%	1,927	5.5%	△ 130	△ 6.3%
計	36,980	100.0%	35,000	100.0%	△ 1,980	△ 5.4%
圧力センサ						
プロセス・新エネルギー	2,275	10.6%	2,429	11.8%	154	6.8%
産業機械・設備	6,042	28.3%	6,018	29.4%	△ 24	△ 0.4%
空調	522	2.4%	539	2.6%	17	3.3%
半導体	7,168	33.5%	5,435	26.5%	△ 1,733	△ 24.2%
量産・車	1,453	6.8%	1,752	8.5%	299	20.6%
量産・建設機械	3,904	18.3%	4,327	21.1%	423	10.8%
計	21,366	100.0%	20,500	100.0%	△ 866	△ 4.1%
計測制御機器	4,043	—	4,200	—	156	3.9%
ダイカスト	5,257	—	5,500	—	242	4.6%
その他	1,896	—	1,900	—	4	0.1%
合 計	69,544	—	67,100	—	△ 2,444	△ 3.5%

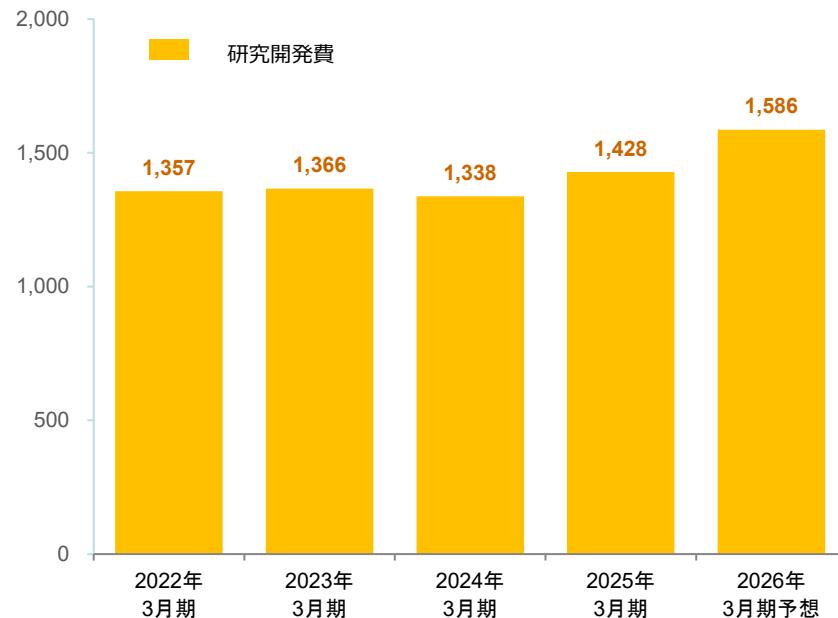
設備投資・減価償却費・研究開発費の見通し

(単位：百万円)

設備投資・減価償却費



研究開発費



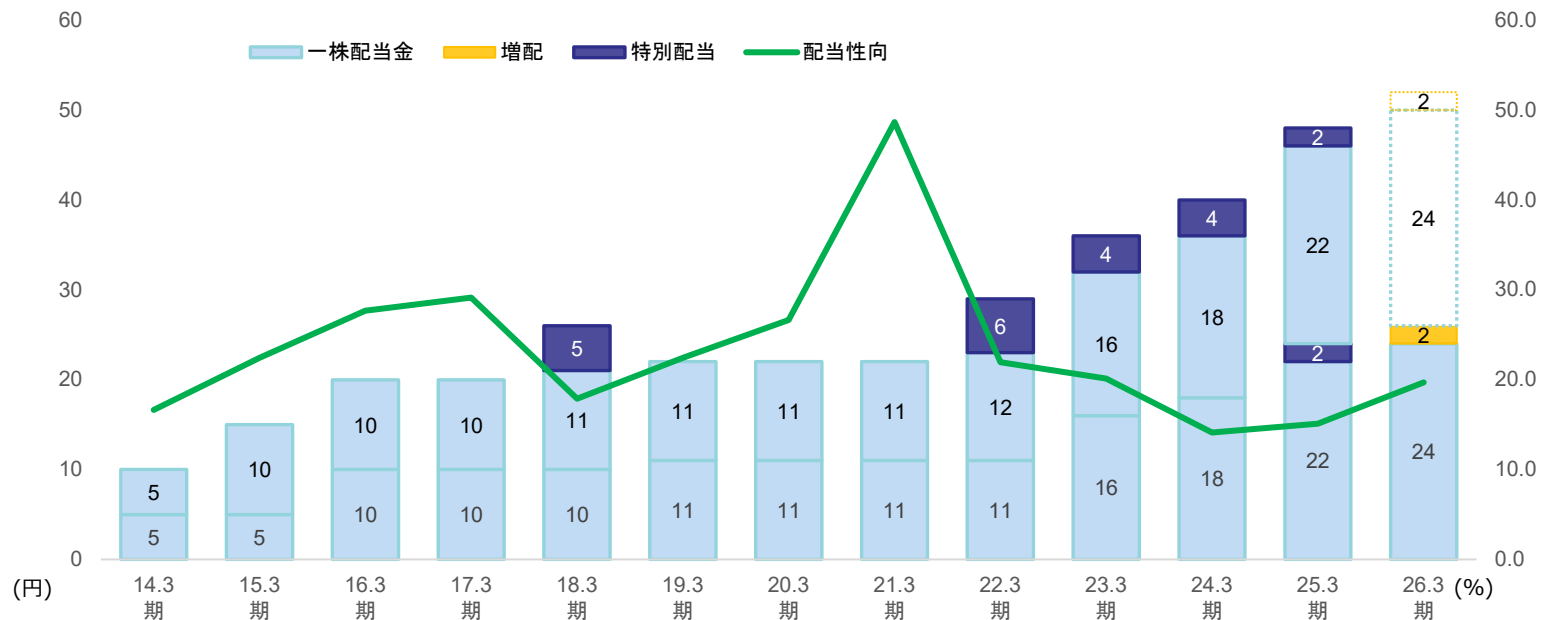
※研究開発費は、一般管理費に含まれるものと、製造費用に含まれるものとの合算となっております。

2026年3月期 第3四半期 累計連結業績概要
2026年3月期 業績予想(変更なし)
株主還元

配当推移

増配

- 期末配当金は、**従来予想より2円増額し、一株配当金は26円**（前期比+2円）。
- 期末配当の増額に伴い、年間一株配当金は52円を予定（期初予想は48円）。



自己株式の消却について

■2025年8月26日付 取締役会決議の決定内容

・消却する株式の種類	当社普通株式
・取得し得る株式の総数	600,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合3.1%）
・株式の取得価額の総額	1,200,000,000円（上限）
・取得方法	東京証券取引所における市場買付
・取得期間	2025年9月11日～2026年1月30日

■取得した自己株式の累計 （2025年11月5日現在）

・取得した株式の総数	540,500株
・株式の取得価格の総額	1,199,915,600円



■2026年2月10日付 取締役会決議の決定内容「自己株式の消却について」

・消却する株式の種類	当社普通株式
・消却する株式の総数	540,500株 （消却前の発行済株式総数に対する割合2.78%）
・消却予定日	2026年2月27日

（ご参考）

■消却後の株式の状況について

- ・発行済み株式総数 : 18,892,484株
 - ・自己株式数 : 319,629株
- （注）自己株式数には、「株式報酬制度」に基づき三井住友信託銀行株式会社が所有する当社株式（120,200株）が含まれております。

ありがとうございました

【お問い合わせ先】

長野計器株式会社 経営企画部

電話 03-3776-5332 (ダイヤルイン)

メール keiei-kikaku@naganokeiki.co.jp

コーポレートサイト

<https://www.naganokeiki.co.jp/>

IR情報 <https://www.naganokeiki.co.jp/ir/>



長野計器グループの生産・販売拠点



 **長野計器**

参考資料

■ 創業（1896年）微圧から超高圧までの圧力計を開発・製造・販売、国内シェア60%以上（売上高）

圧力計事業



圧力計

根幹となる
心臓部を
自社開発・内製化
100年を超える
実績と信頼！
幅広い市場ニーズに
的確に対応

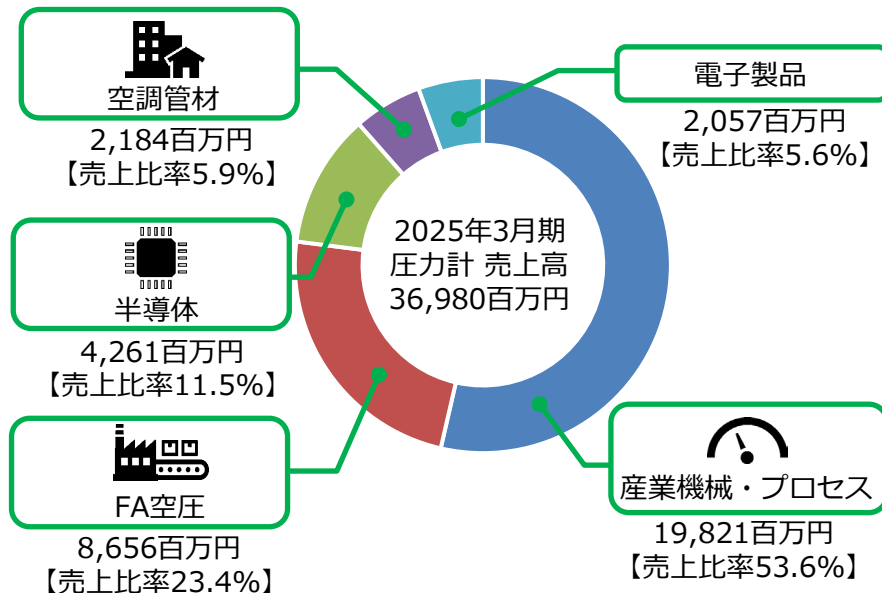
圧力計とは？

- 空気や液体の「押す力」を、圧力値として
指針の動きに変換、確認ができる計器。
- 駆動電力を必要とせず、設置するだけで人が
目に見える形態で圧力を表示、作業者が簡単
に圧力値を目視確認できる。

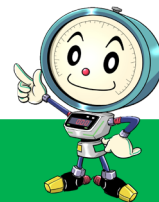


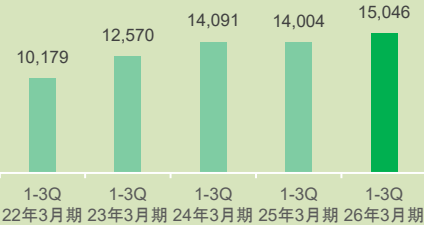
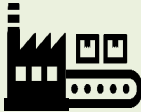
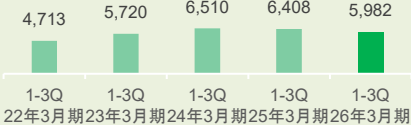
コア技術
(心臓部)

2025年3月期 圧力計 売上構成比

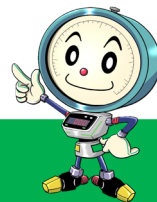


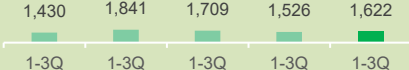
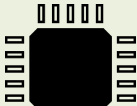
■圧力計事業の業種紹介



業種	主要製品	業種別 業績推移 (売上実績)	用途例	用途説明										
 産業機械・プロセス	 普通形圧力計  隔膜式圧力計	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1-3Q 22年3月期</th> <th>1-3Q 23年3月期</th> <th>1-3Q 24年3月期</th> <th>1-3Q 25年3月期</th> <th>1-3Q 26年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,179</td> <td>12,570</td> <td>14,091</td> <td>14,004</td> <td>15,046</td> </tr> </tbody> </table>	1-3Q 22年3月期	1-3Q 23年3月期	1-3Q 24年3月期	1-3Q 25年3月期	1-3Q 26年3月期	10,179	12,570	14,091	14,004	15,046	●コンプレッサー ●発電所 ●石油精製 ●化学コンビナート ●真空ポンプ ●農業用機械	●化学プラントやコンビナートでは、様々な液体や気体が配管により供給されています。圧力計の設置により、配管の破裂や漏れを未然に防ぎ、施設の安全を確保します。 また、タンクや貯蔵容器内の圧力計測により、残量監視を行うとともに、爆発等の事故リスク低減にも寄与しています。
1-3Q 22年3月期	1-3Q 23年3月期	1-3Q 24年3月期	1-3Q 25年3月期	1-3Q 26年3月期										
10,179	12,570	14,091	14,004	15,046										
 FA空圧	 小形圧力計	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1-3Q 22年3月期</th> <th>1-3Q 23年3月期</th> <th>1-3Q 24年3月期</th> <th>1-3Q 25年3月期</th> <th>1-3Q 26年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,713</td> <td>5,720</td> <td>6,510</td> <td>6,408</td> <td>5,982</td> </tr> </tbody> </table>	1-3Q 22年3月期	1-3Q 23年3月期	1-3Q 24年3月期	1-3Q 25年3月期	1-3Q 26年3月期	4,713	5,720	6,510	6,408	5,982	●空圧機器	●自動化された工場の製造ラインでは、機械やロボットが物を運んだり持ち上げたりする際に圧縮空気が用いられます。包装機械や組み立てロボットの空圧システムは規定の圧力で動作する必要があるため、圧力計を使用して圧力を常時監視することが重要です。仮に圧力供給が不安定になると、機械の正確な動作が妨げられ、生産効率に重大な支障をきたす可能性があります。
1-3Q 22年3月期	1-3Q 23年3月期	1-3Q 24年3月期	1-3Q 25年3月期	1-3Q 26年3月期										
4,713	5,720	6,510	6,408	5,982										

■圧力計事業の業種紹介



業種	主要製品	業種別 業績推移 (売上実績)	用途例	用途説明												
 空調管材	 微差圧スイッチ  微差圧計	 <table><tr><th>期</th><th>22年3月期</th><th>23年3月期</th><th>24年3月期</th><th>25年3月期</th><th>26年3月期</th></tr><tr><td>売上</td><td>1,430</td><td>1,841</td><td>1,709</td><td>1,526</td><td>1,622</td></tr></table>	期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	売上	1,430	1,841	1,709	1,526	1,622	●クリーンルーム (半導体・医薬・食品) ●ビル空調	●居住空間の適切な換気を確保するために、空気が通るダクト内の空気量測定が重要視され、適切な風量の確保とフィルターの詰まり検知に微小圧力の計測が必要とされています。 (オフィス・半導体・医薬・食品工場等) 家庭やビル内の給水においても適切な水压を維持することで、上水の供給はもちろん、配管からの漏水低減にも貢献しています。
期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期											
売上	1,430	1,841	1,709	1,526	1,622											
 半導体	 半導体産業用圧力計  高耐食圧力計	 <table><tr><th>期</th><th>22年3月期</th><th>23年3月期</th><th>24年3月期</th><th>25年3月期</th><th>26年3月期</th></tr><tr><td>売上</td><td>1,859</td><td>2,818</td><td>2,822</td><td>3,064</td><td>2,567</td></tr></table>	期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	売上	1,859	2,818	2,822	3,064	2,567	●工場内配管 ●ガス・水・薬液の供給設備	●半導体の製造工程では、「ガス・薬液・純水」を供給する際、圧力計測は必要不可欠です。 半導体製造プロセス全体における品質と安定性の向上に繋がります。これは均一なガス供給の確保だけでなく、適切な圧力管理が装置の保護にも繋がります。 特に、ガスポンプ等は、残量が目に見えないため、圧力計を用いて残量確認する等、様々な用途でご利用頂いています。
期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期											
売上	1,859	2,818	2,822	3,064	2,567											

※圧力計事業における「電子製品」は、機械的構造により圧力値を電気信号に変換する製品につき、段階的に圧力センサへの置換えを進めております。

■ 1983年から圧力センサの開発・製造・販売開始。計測値を電気信号に変換、従来の計測から制御へ！

圧力センサ事業



圧力センサ

センサ素子を
自社開発・内製化
圧力値を問わず
少量から量産品に
至るまで幅広い
市場ニーズに対応

圧力センサとは？

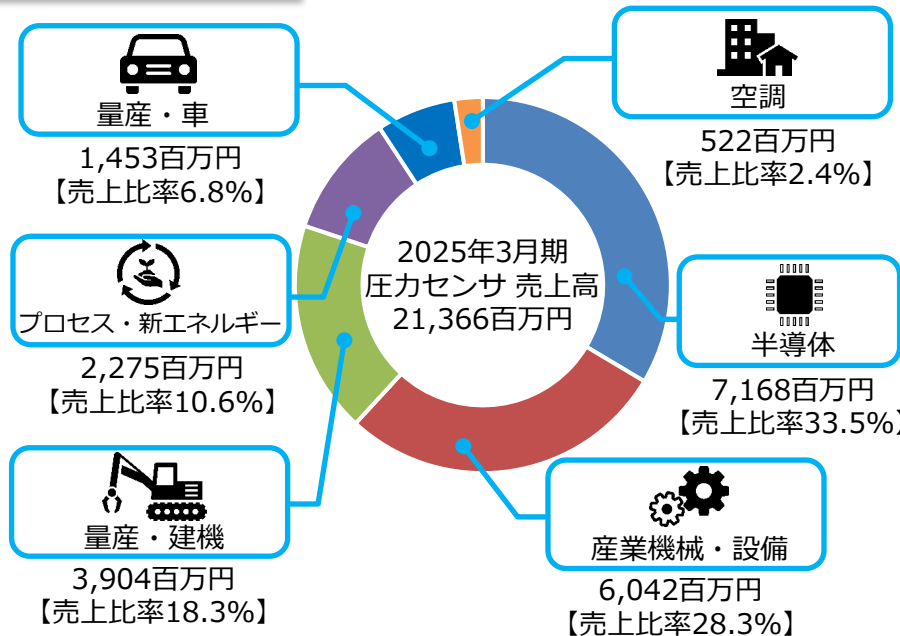
- 空気や液体の「押す力」を電気信号に変換、駆動電力を必要とし、計測データをリアルタイムで監視・制御システムに送信することが可能な計器。
- 昨今では、省人化の観点から設備の自動化が進み、自動制御の精度向上や安全面向上の観点から、搭載数量や需要が増加中。



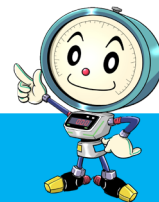
センサ素子
(心臓部)



2025年3月期 圧力センサ 売上構成比



■ 圧力センサ事業の業種紹介



業種	主要製品	業種別 業績推移 (売上実績)	用途例	用途説明															
 プロセス・新エネルギー	 本質安全防爆構造圧力センサ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年3月期</td> <td>23年3月期</td> <td>24年3月期</td> <td>25年3月期</td> <td>26年3月期</td> </tr> <tr> <td>1,322</td> <td>1,826</td> <td>1,741</td> <td>1,585</td> <td>1,875</td> </tr> </tbody> </table>	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	1,322	1,826	1,741	1,585	1,875	● 水素・アンモニア ● 石油精製	● 水素は高圧下で輸送や貯蔵が行われることが多く、圧力を正確に測定し管理することは、漏洩や爆発のリスクを軽減し、全体的なシステムの安定性を向上させるために不可欠です。圧力センサは、水素の充填、輸送、貯蔵設備において、圧力が安全限度内に保たれているか監視する役割を果たします。これにより、水素エネルギーの安全利用が実現されています。
1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q															
22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期															
1,322	1,826	1,741	1,585	1,875															
 産業機械・設備	 産業用圧力センサ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年3月期</td> <td>23年3月期</td> <td>24年3月期</td> <td>25年3月期</td> <td>26年3月期</td> </tr> <tr> <td>3,827</td> <td>4,452</td> <td>4,770</td> <td>4,393</td> <td>4,244</td> </tr> </tbody> </table>	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	3,827	4,452	4,770	4,393	4,244	● 工作機械 ● 油空圧機器 ● 射出成型	● 産業機械では、機械やシステム内の流体やガスの圧力を正確に測定し、そのデータを利用して設定条件を微調節することで、製品の一貫した品質維持、全体の運用効率を向上させる目的で圧力センサが活用されています。その結果、製造プロセスの全体的な運用コスト削減にも寄与しています。
1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q															
22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期															
3,827	4,452	4,770	4,393	4,244															
 空調	 デジタル微差圧計	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年3月期</td> <td>23年3月期</td> <td>24年3月期</td> <td>25年3月期</td> <td>26年3月期</td> </tr> <tr> <td>317</td> <td>364</td> <td>430</td> <td>367</td> <td>418</td> </tr> </tbody> </table>	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	317	364	430	367	418	● ビルの給排水 ● 大型冷暖房 ● クリーンルーム	● 空調機における冷媒の圧力を計測し、空調システムの稼働効率向上、快適な室内環境維持のための監視、エネルギー消費抑制にも繋がっています。また、クリーンルームでは部屋の圧力を一定に保つことで異物の侵入を防ぐ等、部屋内の清潔度維持にも寄与しています。
1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q															
22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期															
317	364	430	367	418															

セグメント別紹介 圧力センサ

圧力計

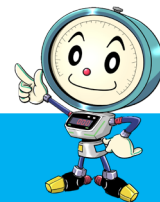
圧力センサ

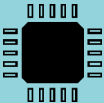
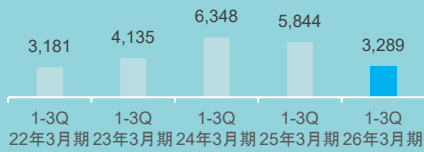
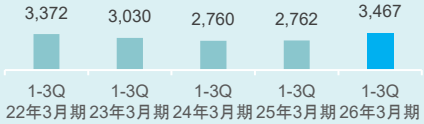
計測制御機器

ダイカスト

(単位：百万円)

■ 圧力センサ事業の業種紹介



業種	主要製品	業種別 業績推移 (売上実績)	用途例	用途説明															
 半導体	  半導体産業用 圧力センサ 洗浄用 圧力センサ	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年3月期</td> <td>23年3月期</td> <td>24年3月期</td> <td>25年3月期</td> <td>26年3月期</td> </tr> <tr> <td>3,181</td> <td>4,135</td> <td>6,348</td> <td>5,844</td> <td>3,289</td> </tr> </tbody> </table>	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	3,181	4,135	6,348	5,844	3,289	● エッジング装置 ● 薬液供給装置 ● 洗浄装置 ● シリンダー キャビネット	● 圧力センサは半導体製造装置内のシステムに計測データをリアルタイムに提供することで、「ガス・薬液・水」の調整や監視を自動で行うことが可能になります。これは、半導体の生産効率向上や品質の向上、装置の保護だけでなく、危険なガスや薬液の供給は勿論、漏れ監視にも利用されています。
1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q															
22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期															
3,181	4,135	6,348	5,844	3,289															
 量産・車	 車載用圧力センサ	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年3月期</td> <td>23年3月期</td> <td>24年3月期</td> <td>25年3月期</td> <td>26年3月期</td> </tr> <tr> <td>1,320</td> <td>655</td> <td>1,546</td> <td>1,045</td> <td>1,165</td> </tr> </tbody> </table>	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	1,320	655	1,546	1,045	1,165	● 自動車	● 自動車では、エンジンの燃焼システム、ブレーキ、エアコン等、圧力計測が多数必要とされています。燃料を供給する圧力制御により燃費向上に繋がったりブレーキ制御により自動運転を実現させる等、機能向上に繋がるだけでなく、安全性向上にも寄与しています。
1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q															
22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期															
1,320	655	1,546	1,045	1,165															
 量産・建機	 建設機械用圧力センサ	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> <th>1-3Q</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年3月期</td> <td>23年3月期</td> <td>24年3月期</td> <td>25年3月期</td> <td>26年3月期</td> </tr> <tr> <td>3,372</td> <td>3,030</td> <td>2,760</td> <td>2,762</td> <td>3,467</td> </tr> </tbody> </table>	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	3,372	3,030	2,760	2,762	3,467	● 建設機械	● ショベルカー等の重機における油圧制御は、アームの動きや土の掘削作業の駆動源となります。そのため、圧力センサの搭載は、建設機械の性能向上に関わることとなり、異常な圧力を早期に検出することで、保全だけでなく工期遅延の軽減、より安全で効率的な作業を支えています。
1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q	1-3Q															
22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期															
3,372	3,030	2,760	2,762	3,467															

■ 正確な圧力を発生させる機器を自社開発、応用製品（装置を含む）を外販する事業

計測制御機器事業

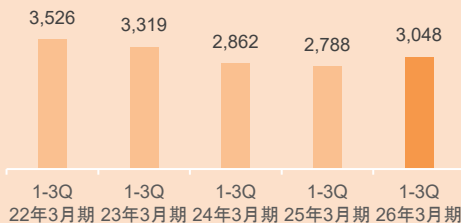


重錘型圧力計（圧力標準機）

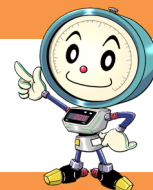
計測制御機器とは？

- 圧力計・圧力センサの検査・校正用として基準となる正確な圧力を発生する装置をはじめ、加圧装置など生産設備に至るまでの機器を提供。
- その他、空気圧機器、リーク検査装置（漏れの確認）等対応。

計測制御機器事業 業績推移（売上実績）



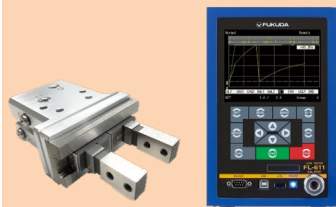
計測制御機器事業の 主要製品紹介



主要製品

用途例

用途説明



エアハンド エアリークテスタ

ヘリウムリーク
テストシステム

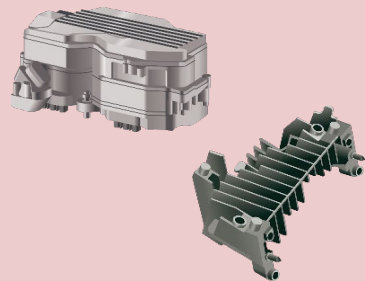


- 自動車部品
- 電子部品
- 包装容器
- 医療機器
- FA

- リークテスタは、自動車業界、電子機器などの部品の密封性を圧力の変動又は、希ガスの流出を検出により、健全性を評価する試験装置です。品質不良を未然に防ぐ目的で使用されます。
- エアハンド等の空気圧機器製品は、ロボットに取り付ける等、産業界における生産設備の自動化及び省人力化に欠かすことのできない機器です。

■アルミニウムのダイカスト製品を金型から設計・開発・販売

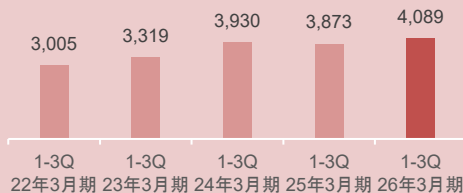
ダイカスト事業



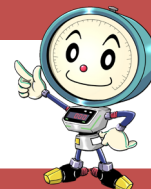
ダイカストとは？

- 自動車関連部品、油・空気圧関係、工業計器、O A・エレクトロニクス関係など様々な分野に製品を供給しています。
- 鋳造から加工、表面处理、検査にいたるまで、自動化設備を積極的に導入しております。

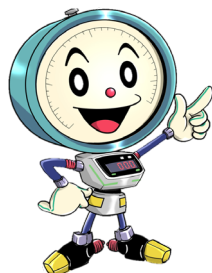
ダイカスト事業 業績推移（売上実績）



ダイカスト事業の 主要製品紹介



主要製品	用途例	用途説明
■アルミニウム製品  自動車関連部品 ヒートシンク部品	【アルミニウム製品】 ●自動車部品 ●計量器 ●工業計器	●自動車のLEDライトは、点灯時の発熱量が大きいいため、冷却が重要です。「ヒートシンク部品」を活用いただく事で、放熱が可能となり、LEDライトの耐用年数の向上に貢献しています。
■ダイカスト金型 	【ダイカスト金型】 ●自動車部品用 ●民生部品用 ●工作機部品用	●ダイカスト法で使用する金型は、鋳造したダイカストを取り出せるように最小で2つの部分より構成されます。一方は固定型、他方は可動型といい、引抜中子等複雑で高精度な型作りが可能です。



注意事項

本資料で記述されている業績ならびに将来予測は現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的风险や不確実性が含まれます。

従いまして、さまざまな情勢変化により、当社予測と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。